

KUNST ARZT では、VvK（アーティスト・キュレーション）  
展覧会の 34 回目として、  
集治千晶キュレーションによる「アニミズムの小箱」  
展を開催します。

集治千晶は、版画、水彩、ヒトガタ・オブジェといっ  
た多様な形式で、フェミニンな表象を大胆に取り入れ、  
原初的なパワーに満ち溢れた作品を制作するアーティ  
ストです。

本展では、集治千晶作品、集治千晶人形コレクション、  
集治千晶と人形作家のコラボレーションをベースに、  
ただの「人形」ではない、アートとしての「人形（ヒ  
トガタ）」をお見せします。

（KUNST ARZT 岡本光博）



## 出品作家

青の羊 / AONOHITSUJI

影山多栄子 / KAGEYAMA Taeko

集治千晶 / SHUJI Chiaki

山吉由利子 / YAMAYOSHI Yuriko

「人形（ヒトガタ）」に強い興味を持ったのは約 15 年ほど前に出会ったある人形作品がきっかけだった。  
ただの遊び道具、そして一方的に愛でるためだけのものだと思っていた「人形」に初めて心を強く揺さぶられた。  
今までに感じたことのない感情が込み上げ、そこに生命を感じると同時に自己投影してしまう自分。  
「この感覚は一体？」それ以来「人形」と「アート」に於ける違いは何なのかを考察してきた。

まだはっきりとした答えは出ていないが、私が強く感じているのは両者の間に大きな隔たりはなく  
一つに繋がっている、或いは繋ぐことができるということ。  
今回はそれを展示という形で試みたいと思う。

集治千晶（本展キュレーション、アーティスト）

2023 年 3 月 17 日（金）から 26 日（日）

12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場：KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

集治千晶

SHUJI Chiaki

1973年京都に生まれる。1996年京都精華大学美術学部造形学科版画専攻卒業。  
1998年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻版画修了。2005年京都市芸術新人賞受賞。銅版画の発表から活動を開始し、絵画、ミクストメディアなどの平面作品を発表してきた。15年ほど前に出会った人形作家より強い影響を受け、ここ数年は銅版画、絵画、人形、ぬいぐるみ、手芸、BOXアート等の要素を融合した独自のスタイルで立体作品も手掛けている。

Iconic Doll -Heartbeat-  
2020

青の羊

AONOHITSUJI

「クマドール」(左)

「ジェスタードール」(中)

「金色頭の少女ドール」(右)

影山多栄子  
KAGEYAMA Taeko

「無口なお嬢さん」(右)  
「ambivalent flower/night cruising  
(集治千晶とのコラボ)」(左)

山吉由利子  
YAMAYOSHI Yuriko

「市松さん」